

5月も終わりが近づいてきました。ね… そして「林間」「修学旅行」

早いもので、来週は週の真ん中で5月が終わり、6月となります。6月といえば、高学年の行事ですが、5年生は2泊3日で和歌山へ林間学舎、6年生は1泊2日で広島へ修学旅行にいきます。

このふたつの行事は、小学校生活で最も子どもたちの思い出に残る大きな行事です。そして、「思い出」という側面とは別に、学校行事ですから「学習」としての側面ももちろんあります。「林間学舎」では様々な形での『自然体験』が主となります。山に囲まれた中での様々な活動は普段家庭や学校ではなかなか経験することができない貴重な体験となるでしょう。普段、子どもたちは(私たち大人もそうですが)、様々な文明の恩恵(テレビ、スマホ、エアコン、車、コンビニ等々)のもとで快適に過ごしています。ともすれば、これが「当たり前」のような感覚を覚えてしまっているのではないかと感じることもあります。当たり前とっていたものがないと、それは極めて不便に感じます。しかし、そういった文明の恩恵から離れて、あえて「不便な生活」を体験することで、今の文明の有難さを実感として感じあるいは、普段は夜空を見上げて都会では決してみることでできないような多くの星が夜空に輝いて見えることを自分自身の目で実際に見ることで、大自然の素晴らしさや宇宙に対する興味をもつことにもつながります。こういった体験は、学校での授業だけでは決して得ることができないものです。机上の学習も大切であることは間違いありませんが、様々なことを学習してそれを、自分自身の内面にしっかりと刻み込み、定着させていくためには、子どもたち(もちろん私たち大人も)が、単なる言葉だけの「知識」や「理解」ではなく、自分の心でしっかりと「感じ」とることのできる素地である『感性』を育てていくことも大切だと思っています。

音楽や、図工、体育、家庭科といった教科は特に『感性』を育てていくためには重要な役割をもっています。先の校長室だよりでも触れたと思いますが、今年はこういった側面からも子どもたちの本来持っている素晴らしい数々の可能性を少しでも引き出し、子どもたち自身に気づかせることができればと考えています。

☆☆☆先生たちの「不審者対応訓練」をおこないました！

事前打合せ。皆真剣です！様々なことを想定しています

今週水曜日(24日)午後、先生方による「不審者対応訓練」をおこないました。この訓練をおこない始めて今年で3年目になりますが、これまでと同様、学校における危機管理をテーマに研修されている奈良学園大学の松井典夫先生に来ていただき、打合せから実際の「対応訓練」、そして、訓練終了後の各担当ごとに今回の訓練での「反省」、全体を通しての先生方全員での「訓練の振り返り」、最後に総合監修をいただいている松井典夫先生からの指導助言をいただき、約1時間の訓練を終えました。



不審者に声をかけた対応しています！



今回は、東門(登校門)から、警備の隙をぬって「不審者」が校内に侵入したという設定で、警備員さん協力してもらい訓練は始まりました。校内に侵入した不審者は子どものいる教室へ向かって、手には凶器をもった状態でいきます。門からの通報を受けた職員室では、すぐに不審者へ対応する担当の先生が向かうと同時に、校内に放送で「不審者が侵入した」ことを告げます。また、これと同時に警察(110番通報)への通報もおこないます。その後、「不審者」は南校舎東階段を上って2階にいきます。(この順路等は決められているわけではありません。「不審者」思いで校内を動きます。)このとき、授業中という設定で、子どもたちは教室にいますが(訓練時は水曜午後で子どもたちは実際にはいません)、校内放送と同時に場合によっては2クラスから一方のクラスに素早く移動し、教室の廊下から離れたところにかたまって身を寄せあい声をださないでいます。児童を管理する担当の先生は教室の中が見えないように廊下側の窓や扉に目隠しをするとともに、内側から鍵をかけ、いざというときのために教室においてある棒(黒板用の定規等)をもち子どもたちを守る体制で声をださずに廊下の様子を全身で集中して窺います。「不審者」に対応する担当の先生たちは、決して不審者を刺激しないように「声をかけながら」(各自、椅子や小黒板をもって)「不審者」の動きについていきます。この動きを追跡して「本部」へ逐一電話で報告する担当の先生もこれに加わり、さらに応援の先生が「さす股」をもちやってきます。こうして不審者は次第に行動に制限がかけられていきます。そのとき、通報した時刻から一定時間がすぎ、警察官の到着となり、不審者は確保されたのです。短い時間ですが、「息が詰まるような緊迫した」時間が流れていきます。毎回、終わったあと様々な反省点が論議されますが、実際には「予測」はできません。「不審者を校内に入れない」ことがまず第一ですが、どんなことでも「完璧」「絶対」はありません。「もし…」という危機意識を先生方全員がもち、体を動かして訓練をしておくことは決して無駄ではないと信じています。先生方、お疲れさまでした！

◇◇◇ AAE 活動犬、レイ君は水曜か木曜に来週登校予定です。

To be continued (次号に続きます)